



News Release

2023年7月12日

日本製鉄株式会社

君津市の中学校でブルーカーボン授業を実施

日本製鉄の「海の森づくり」を伝える！

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、人工的に鉄分を供給し、磯焼けに改善効果のある鉄鋼スラグ製品ビバリー®ユニットを開発し、2004年から藻場を再生させる「海の森づくり」に取り組んでおり、現在、その取り組みは全国44カ所の海域に広がっています。多くの適用海域では、多様な海洋生物の住処となる藻場がよみがえり、漁獲向上の効果も報告されています。藻場は近年、CO₂を吸収・固定するブルーカーボン生態系の1つとしても注目が集まっています。日本製鉄は、この藻場造成事業において、国土交通省認可の技術研究組合であるジャパンプルーエコノミー技術研究組合が運営するJブルークレジット®から、直近5年間の2018～2022年に吸収・固定化されたCO₂量（ブルーカーボン）として、49.5トン-CO₂の認証を経て、クレジットの発行を取得しています。

日本製鉄は、こうした取り組みについて理解を深めていただくことを目的に、君津市教育センターが主宰する「きみつSDGs×つながる山・川・海学習プログラム」の参加校である君津市立周西南中学校の生徒（2年生66名）を対象に、ブルーカーボン授業を実施しました。当該授業では、日本製鉄技術開発本部の研究員が、「日本製鉄の海の森づくり-ブルーカーボンで二酸化炭素を減らそう-」と題して、スライド資料や動画、ビバリーユニットや海藻サンプルを使って、日本製鉄の鉄鋼スラグを活用した藻場再生の取り組みや、ブルーカーボンのメカニズムを伝えました。授業に参加した生徒からは「CO₂を吸収したコンブが海に流されても、吸収したCO₂が分解されることはないのか？」といった質問や「陸上の森と同じように、千葉県海にもCO₂を吸収する藻場があることが分かった。」「海洋汚染をなくすこともCO₂削減に繋がると思う。」等といった感想をいただきました。

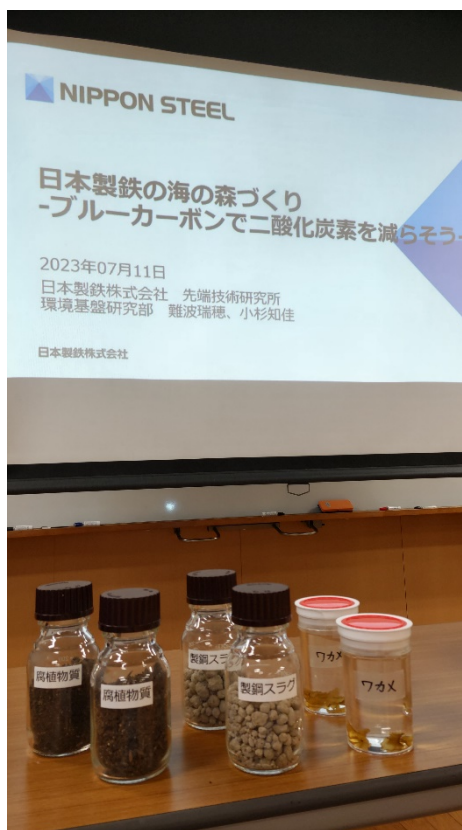
（参考）ブルーカーボン動画 <https://www.youtube.com/watch?v=Eg7n19kEnK4&t=21s>

Make Our Earth Green



NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative

<授業の様子>



日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致した活動(「気候変動に具体的な対策を」、「海の豊かさを守ろう」)を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

以上

お問い合わせ先：総務部広報センター 03-6867-3419、2135、2146、2977

Make Our Earth Green  NIPPON STEEL
Green Transformation
initiative
NET ZERO